

第25回江府町農業委員会総会会議録

招集年月日 令和元年7月10日(水)

招集場所 江府町防災・情報センター

開 会 午前9時30分 会長宣言

出席委員(10人)・農地利用最適化推進委員(5人)

1番	下垣 涼子	7番	森 光正
2番	賀本 幹穂	8番	山本 信男
3番	清水 治之		
4番	一二三 八郎	10番	松原 憲治
5番	奥田 隆範	11番	川上 博久
6番	加藤 直行		
	上前 梅夫		長尾 保
	見山 収		谷口 一郎
	宇田川 保		

欠席委員(1人)・農地利用最適化推進委員(0人)

9番 中田 泰

職員及び関係者 局長 末次 義晃
課長補佐 松原 俊二

1. 議長は本日の議事日程を下記のとおり報告した。

第1号議案 農用地利用集積計画(案)について

第2号議案 農地一時転用事業計画変更申請書について

2. 議事についての記録は末尾のとおり。

開 議 午前9時30分

会議録署名委員の決定

議長、会議に先立ち下記のとおり署名委員を指名する。

10番委員 松原 憲治 11番委員 川上 博久

事務局： 皆さんおはようございます。定刻になりましたので始めさせていただきます。本日は中田委員さんの方から欠席と言う連絡がございました。下垣委員さんにつきましてはちょっと遅れて参加をします。という事でございます。事務局の方でございますけれども、局長は業務が入っておりますので少し遅れて参ります。川上課長は選挙の事務という事で欠席という事でございます。

会 長： 皆さんおはようございます。

委 員： おはようございます。

会 長： 本日は第25回の江府町農業委員会総会に出席いただきましてありがとうございます。皆さんの手元に再生協議会が出た資料があると思います。品種別の作付け予定面積とか、その後山地交付金の活用明細と言うのがございますが、再生協議会の中でも特に今の補助金の活用を頂く様に農業委員さんの方から各集落の皆さん方に周知して頂く様にとする様な声が席上で出て参りましたので、先般の資料を配られた物に付きましても補助金の内容については資料と一緒に各戸に配布されておりましたけれども、そういう声も出ておりましたので、機会があればそういった問題についても農業委員さんの方からも集落の皆さんに周知をして頂ければと言う様に思います。それと、この前も申しあげておりましたけれども、今年の水稲の作付け面積が、確定したものが出ていないという事でございますので、そういう物が纏まったら日野郡内の各町の水稲の作付け面積、或いは県全体の面積と言うものについても資料を揃えておきたいなと言う様に思っておりますので、またよろしく願いいたします。それではこれより総会に入らせて頂きます。

事務局： 農業委員会憲章の唱和をお願いします。本日は清水委員さんをお願いしたいと思います。

委 員： 全員で農業委員会憲章の唱和（清水委員）

議 長： これより総会審議に入ります。本日の欠席は中田委員さん1名でございますので会議は成立をいたします。まず議事録署名委員及び会議書記の指名を行います。議事録署名委員は議長より指名させていただくことにご異議ございませんか。

委 員： 異議なし。（全員）

議 長： 議事録署名委員は、松原委員、川上委員をお願いをいたします。尚、本日の会議書記は事務局を指名いたします。議事に先立ちまして報告事項がございますので、事務局より説明をお願いいたします。

事務局： 失礼します。報告事項が2点ございます。1件目でございますが、2ページをご覧ください

た。

議長： ありがとうございます。事務局の方から細かく説明を頂きましたが、担当の委員さんの方からコメントがあればお願いをしたいと思います。

川上： 今事務局が言われました様に〇〇〇〇〇で、〇〇〇を経由して以前は農地だった所が今は完全に山林化しております、非農地を進めても良いと思います。

議長： ありがとうございます。それでは、議案第1号、非農地証明の申請について、これより質疑に入ります。質疑のある方は挙手をお願いいたします。質疑、意見が有りませんので、議案第1号、非農地証明の申請について、賛成の方は挙手をお願いします。

委員： はい（全員賛成）

議長： ありがとうございます。全員賛成ですので、原案通り承認いたします。それでは議事に入ります。議案第2号、農地一時転用事業計画変更申請について、を議題とします。事務局より説明を求めます。

事務局： 資料が8ページになります。場所は大字〇〇字〇〇〇〇〇〇番地、地目は〇、地籍が〇、〇〇〇㎡でございます。今現在〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の方が〇〇〇〇さん並びに〇〇〇〇さんの土地を借りておられる案件でございますが、工事は遅れているという事で、現在〇月〇〇日までの期間となっておりますが、令和〇年〇月〇〇日まで延長をさせて頂きたい、という申請でございます。工期の変更によるものでございまして、その他の案件については当初通りという事でございます。9ページに申請内容並びに場所の方が11ページに記載されております。非常に見にくいですが出して頂きました工程表を出して頂きました。12ページに付けさせて頂いております。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇が生じていると言う事でございます。以上です。

議長： ありがとうございます。今説明がありましたけれども、工程表も出ておりますけれども、ちょっと見ても小さくて見難いもので、なかなか理解が出来ないかと思っておりますけれども、それでは議案第2号、農地一時転用事業計画変更申請について、これより質疑に入ります。質疑のある方は挙手をお願いいたします。ございませんか。質疑、意見がございませんので、議案第2号、農地一時転用事業計画変更申請について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

委員： はい（全員賛成）

議長： ありがとうございます。全員賛成ですので原案通り承認いたします。以上で議事は終了をいたしました。その他に入りますが、その他につきましては、事務局の方で随時進めて頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。

事務局： 資料1 ページの日程の方に上げさせて頂いております。1 点目でございます。次回農業委員会総会でございます。開催日は、令和元年8月9日金曜日、時間が9時30分からという事で、場所の方がエミーズカフェ、保育園を上流に向かって頂いて、昔老人福祉センターと言う風に言っておりました。一時は社会福祉協議会さんもおられた場所でございますけれども、皆さん会場の方は分かりますでしょうか。こちらを会場に開催をさせて頂こうかと思っております。総会後に竹内敏朗さんを講師にお招きしまして、小麦、ソバの生産等を積極的にやっておられます。そういった所の研修をさせて頂ければと言う風に考えている所でございます。

議長： 前町長さんが指導農業士さんですかね、わかりました。

事務局： 8月9日でよろしくお願ひいたします。(2) 農地相談会でございますが、今月27日水曜日、午後1時半から3時半まで、会場が山村開発センター会議室、担当でお世話になります委員さんが、中田委員さん、松原委員さんになっております。忙しい中でございますけれどもよろしくお願ひいたします。来月の方もご相談させて頂こうかと思ひます。8月22日木曜日、1時半から3時半、場所は山村開発センターでございますけれども、川上委員さんと見山推進委員さんにお世話になりますけれども、日程の方はいかがでございますでしょうか。

見山： はい

川上： はい

事務局： 8月22日でよろしくお願ひいたします。(3) になります。こちら資料等は付けておりませんが、農地パトロールについてお諮りをさせて頂こうかと思ひます。去年は中止をさせて頂いていた様でございますけれども、農地パトロールの出発式と言う風な形で例年お世話になっていた様でございます。こちらの出発式につきまして今年は改めでの形は外させて頂けたらと思うんですが、実際農地の確認等昨年お世話になりました。確認等につきましては、今年も引き続きお願ひできたらと思っております、セレモニー的な出発式と言うのは無くても、省かせて頂けたらと言う風に思ひますが、農地の確認でございますけれども、耕作放棄地の防止だったりとか、実際農地の確認のお世話にはなっているんですけれども、今現在リストの中で今年の中身としましては、昨年もお世話になった中での、先ずは凶上の中で、先程も案件として非農地証明を掛けさせて頂きました。もう見ただけで、明らかに山の中でこれは農地ではないよと言うのも実際に入っている状態でございます。まずここを、分母からその部分を外して頂いた、それからそれプラス、現地で昨年回って確認等をして頂きました、そこについては引き続き今年の状況の確認を頂くと言う形でお願ひを出来たら、と言う風に思っている所なんですけれども。

川 上： できれば農地パトロールの出発式と言うのは県の農業会議の事務局が主体となってされている訳ですけれども、法律的にもパトロールをやって下さいという事になっている訳です。出発式は出来れば町民の方周知、少しでもこう言う機関で農地の大切さをやっているよと、一つのPRですし、町内の放送もされますし、いつごろから農地パトロールに入りますよと皆さんに周知されますし、出来れば出発式も形を取って町民の方に農業委員会はこんなにやっているよと言う事をPRするためにも、できればされた方が良いでしょうと思います。農地パトロールは2年前にもB判定、A判定したわけですけれども、それからいろんな事で集約されたと思うんですけれども、非農地について、その辺の事務的な手続きがはっきりわかりませんが、今年はどういうスタンスで行くかという事を会の中でされた方が良いでしょうと思います。案を作って協議をして、これで農地パトロールをやって行こうと皆で合意されて、それから進めて行くようにされた方が良いでしょうと思います。この2点を思うんですけれども、1つは出発式の件と、今年農地パトロールをどういう内容、スタンスで行くかという事を皆と協議して3年前にもA判定、B判定したわけですけれども、それからどういう形でやって行くかと詰めて、それから提案されたらいいのではないのでしょうか。それは会長、職務代理の中で検討されてどういう形で農地パトロールを進めて行くかと言う、次回の会に向けて会長、職務代理、事務局の中で案を作られた方が良いでしょうと思いますか。

議 長： 川上委員さんの意見としては、農業委員会のPRも兼ねてそう言う事も大事だし、パトロールは従来通りパトロールをやって、今の既に農地でなくなった土地の整理はそれはそれでやると言う事の意味ですね。

川 上： はい

議 長： 今川上委員さんがおっしゃいます様に、事務局と松原委員さんとも相談させて頂いて結論を出させて頂くと言う事です。事務局さんそう言う事ですので、後程その事については相談させて頂きたいと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局： 承知しました。よろしく願いします。皆さんに配布物をさせて頂いております。こちらの紹介だけさせて頂けたらと思います。タオルが3枚ほど配らせて頂いております。農業新聞さんから、いろいろお世話になっておりますという事で、こちらにつきましても又購読者の拡大等をお願いできたら、と言う風な事で来ております。それと冒頭の会長のあいさつにもありました、再生協議会の資料、数枚の資料でございます。こちらの方は前回の総会の時に皆さんにも、と言う事でございましたので、その中から抜粋をして資料を整えております。参考にまた見てやって下さい。

議 長： 農業新聞の、この県の総会があった中に農業委員会の部数が町村別に出ておまして、江府町は非常に購読数が少なく、農地の面積からすれば日野町が少なく江府町が多い訳ですけれども、農業新聞の購読数は日野郡では一番少なかった様ですので、皆さんに協力して頂けたらと思います。余談ですが、全国で普及運動が進められておまして、

倉吉の山協会長さんが去年は全国一位になりました。以上です。

事務局： 事務局の方で用意しております内容は以上でございます。

議長： 宇田川委員さんの方からある様です。

宇田川： 毎回言っていますけれども、ジビエがどうなっているか、先だつての報告では米沢地区、校区で了解を得たという事で、前向きに進めようとしている訳ですけれども、6月17日に県に補助金を頂く為の計画案を出して、森さんと下村君と私と3人で行って参りました。初めてそう言う所に出たものですから緊張もしましたけれども、びっくりした会でした。県の職員は実際に質疑応答とかいろんなことをする訳ではないんです。一般の方です。例えば弁護士とか、この間出られて一番トップは鳥取大学の教授とか、その他いろんな大きな会社の役割の人が出られていろいろ質問をされる訳ですけれども、下村君も初めて出て、緊張して何を説明して何をプレゼンしたか全く覚えてないと言う様な状況を後から聞いたらそうでした。いろいろした話の中で最後にあまりにも質問があった時に、森さんも下村君も宇田川さんと言うもんだから、私の存在は何で宇田川さん、どんな人かという事で、最後に2分ほど頂いて、実は農業委員会の取り組みの一つとして、田んぼも入って5年も6年もしているうちにシカとイノシシが増えて来ると言う状況の中で、こう言った経験のある会社を出たものですから、是非取り組んで取れるものという事で思いつきましたという事で納得して頂いて、持ち点が1人が5点で4人ですから20点満点で15点以上だと認可されると、12点だと条件付きだと、これは後から聞いたんですけれども、後日結果の報告がありますという事で、20日に認可されました。おめでとうございます。と言うメールが入って来てほっとしましたけれども。これから改造をしたり計画を立てて行く予定にしています。皆さんの力を借りたりしていく事と思いますが、よろしくお願いします。以上です。

局長： 私の方から。情報提供なんですけれども、鳥取県の担い手育成機構の理事長、上場さん、長年勤めておられましたが、この7月にご退任という事でございます。新たに今まで専務理事でおられました伊藤友昭さん、昔江府町役場で副町長をしておられました。伊藤さんの方が新たに理事長就任という事でございますのでご報告をさせていただきます。それから合わせましてご承知の方もおられるかもしれませんが、日野の振興局の農業振興室、私どもの業務に一番関係のある所の、今まで河本さんと言う男性の方が室長でおられたんですが、以前から体調を崩しておられる方で正式には休職という事になっております。その後任として新たに室長として松原室長と言う女性の方でございすけれども、就任しておられますので、何かの機会がございましたら皆さんにお会いして頂く事もあると思いますけれども、河本室長が休職で松原室長が新たに就任されたという事をご報告させていただきます。よろしくお願いします。

議長： 局長、推進会議がこの間ありましたが、私と松原さんとお出させてもらったんですけれども、そう言った推進委員さんだけではなしに、そう言った問題は農業委員さんも全員

で共有して頂けたらと言う話が出ましたが、そういう事についてちょっと説明をして、出来たら皆さん一緒にそういう機会に参加させてもらって勉強をさせて頂くと言う様な話を局長の方からお願いできませんか。

局長： 6月28日に人・農地プランなり農地集積の推進会議という事で、県の職員、役場、農業委員会の会長と職務代理、最適化推進委員さんにお集まりいただいて、推進会議と言う物を持っております。年に数回程度予定をしている訳でございますが、その席上で農業委員会の方から、一体的に農業委員会として取組む為に推進委員だけではなく農業委員全体に出席をお願いして、沢山集まった中で共通認識を持って取り組んで行った方が良いのではないかと、言った様なご意見を頂いております。事務局を農林産業課が持っておりますので、そちらの方にちょっと話をし、次回からは人数が増えますけれども皆さんにご案内をさせて頂いて、ご出席をいただきたいと言う事でございます。話し合いの内容と言うのは、一つには今現在進めている集落営農を中心に、地域営農を中心に地域における担い手づくりについての、各地域で進めて頂いているんですが、進捗状況の確認なり今後どのように進めて行くかと言う様な話、それから、昨今人・農地プラン、人・農地プラン自体は平成24年から制度自体は出来ているんですが、これが全国で絵に描いた餅になっていると、それを実質化、要はきちんとした目標として掲げて、皆に共通認識とした上で地域として取り組まないと、絵に描いた餅の従来の人・農地プランだと、補助金等の採択にもプラスになりませんよと、言った様な事も国が打ち出しているんですが、人・農地プランを立てて皆でその達成に向けて取り組んで行こうと言う様な会でございます。先般、中心はどうしても集落営農の話という事になるんですが、現在は洲河崎地区が非常に取り組みのペースが上がって来た状況でございます。アンケートも取られたり、今月の町報、今週末に発行される町報の方に6ページにわたって集落営農なり地域営農の特集を組んでおります。農林産業課の仲田君の方で執筆をしてくれるんですが、直近の事例として杉谷の農事組合法人かがやきの3年間の取組みなりのご紹介、現在組織設立に向けて頑張っておられる洲河崎地区の話し合いの状況などと言ったものも掲載させて頂いております。去年の末から今年にかけてここにおられる農業委員会の皆さんにも頑張ってもらっております。各地域で小さな担い手組織、大河原で言えば文殊の会、小江尾であればBS小江尾会、いくつかの会が随時立ち上がっております。そういった組織のご紹介なり、と言った様な事もさせて頂いておりますので、是非ご覧いただければと思いますが、そういった進捗状況と言った様な事についての意見交換なり役割分担という事もしております。次回の開催は未定でございますけれども、次から皆様にご案内させて頂きまして、ご出席を頂ければと言う風に思います。以上簡単ですが、何でもご報告です。

議長： 今局長の方からも説明がありましたが、推進委員さんの中からもそういった勉強と一緒に農業委員会としてしたらどうかと言う話が出まして、言われてみますと推進会議という事で最適化推進委員さんの会ではありましてけれども、大きく纏めてみますと、農業を取り巻く問題であり、ありますので、農業委員会全体で勉強をさせて頂くと言うのが一番良いのではないのかなと言う風に感じておりますので、局長が言われます様に次回か

らは案内も参ると思いますので、ご協力を頂きたいと言う様に思います。

事務局： 1点すみません、今日野郡内、女性農業委員さんを中心とした勉強会と言った物を計画されております。

局長： 農業委員会の従来からの日野郡の交流会を事務局が3町で持ち回りをやっております。去年は江府町が当番でした。今年は日野町が担当なんですけれども、一応お世話役は持ち回りでやっている3町の事務局が交代でやって行こうと、今回の発案については、以前農業振興室におられた天満課長補佐がこの春から普及所の所長さんに成っておられますけれども、このあたりが中心になって女性農業委員さんのネットワークを作って女性の活躍をしやすくして行った方が良いのではないかと、言った様な事をご提案頂いております。特に日野町、日南町がこの春既に改選を終えておられます。その中に新しい女性委員さんが入っておられるんですが、非常に不安を持っておられると、業務の内容も分からないし、会に出席しても周りに知った人がいない、と言う中で非常に負担を感じておられるという事もある様でして、先ずは同性の女性農業委員さんに集まって、そこで交流を持って行くという事を従来からの全体での交流会とは別に女性委員さんだけのこう言った形を計画されている様でございます。そういった普及所からの働きかけに基づいたものでございます。趣旨も非常に良い考えだと思いますので、女性委員さんには既にお話をさせて頂いておる所でございますけれども、この機会に全体にこういう事もやっているだとか周知させて頂いたと言う所でございます。一応準備している内容は以上でございます。

議長： そう致しますと、以上を持ちまして第25回江府町農業委員会総会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

令和 年 月 日

署名委員 10 番委員

署名委員 11 番委員